

中央アジア ウズベキスタン共和国の学生・教員への教材支援

アルホラズムの会 代表 田中信義 幹事 神藤洋爾 幹事 坂口雅司



中央アジア 5カ国 と周辺の国



ウズベキスタン 略図

(Google から)

1. 初めに

シルクロードの中間点、中央アジアのウズベキスタンは東隣のキルギスと並んで世界で指折りの日本語教育国ですが、日本語の印刷はできないため、教科書は書店になく大変不足。学生はコピーして使い、持ち去り紛失も多いようです。大学は予算が乏しく、教師用の指導書も同様、留学のための試験問題集も手に入らない現状です。

そこで、日本語を学ぶ若い世代へ教材支援をする「千円札一枚寄金」活動を始めて2018年は5年目になります。

現金を扱うので運営規約を定め任意団体登録（アルホラズムの会）をして、年次収支報告書を作成します。

2. 教材支援の概要

2017年12月末現在425人（再寄金を含む）の方々から75万余円のご協力を得ました。

縁あって、古都奈良 薬師寺の山田法胤長老からもこの活動をご支援戴きました。薬師寺は葬儀を行わず、墓地も持たない修行と学問の仏教寺院です。

草の根型の国際知的人道支援なので学生全員へ提供は及ぶべくもありませんが、私どもの日本語教材支援の話がウズベキスタン国内の日本語教育機関へ伝わり、2017年末までに合計411冊の教材をウズベキスタン共和国のサマルカンド国立外国語大学、タシケント国立東洋学大学、民営日本語学校の「NORIKO学級」へ提供しました。国際交流基金が制作した日本語標準教材と教員用各種ガイドブック、読みやすい日本文学作品などです。

ウズベキスタン東端のフェルガナ州 リシタン市の「NORIKO学級」は小学生から60歳台までのウズベク人が学んでいます。2016年度のウズベキスタン日本語弁論大会、中央アジア各国合同の弁論大会の優勝者は共に「NORIKO学級」の若い女性でした。この文の末尾に届いた教材を持つ生徒達の写真を載せました。

2016年11月の朝日新聞東京版に、ウズベキスタンの若い世代の日本語学習熱の記事が掲載されていました。日本から遠く西へ6,500kmの彼方でなぜ日本語に関心があるのか。マンガ、アニメなどのポップカル

チャーに魅せられて日本語に関心を持ち、日本語学習に至り日本の文化、工業製品の品質管理などを学ぶ過程が、ジャーナリストの立場で客観的に述べられています。

別の話題ですが、大変有り難いことに 2 世代下の 坂口雅司さんがこの活動に関心を持ち、幹事として教材購入を分担して貰うことが可能になりました。

タシケント国立東洋学大学は私どもが支援した実績が国際協力基金に認められ、大学の日本語教育講座からの助成申請が容れられて、私どもの支援が不要になりました。国際協力基金は、世界各国へ日本語教材の助成をしていますが、中央アジアでは初めてです。私どもの教材支援が成果を生じたといえます。

新たに本年春にはタシケントの国立世界言語大学から教材支援の依頼が届きました。

3. 日本への国費留学

サマルカンド外国語大学へ送った留学試験公式問題集も用いて勉強した女性教員が難関の日本の文部科学省の国費留学生試験をパスし、東京外国語大学大学院修士課程で学んでいます。日本の国際協力機構 (JICA) が希望者不足で教員派遣をしない今、帰国後、日本語や日本文化の教育をしたいとか。

嬉しいことにサマルカンド外大で、別の女性教員が、提供した教材で勉強した結果国際協力基金が能力を認めて 2017 年夏 来日し、日本語教育研修センターへ教師指導力向上の短期留学をしました。

ちなみに、日本へ文部科学省国費で留学するには、在学中に学年に応じた日本語能力試験を日本大使館や日本領事館、日本センターなどで受験し、これに合格すると修学歴に応じて希望する研究留学生 (大学院)、

大学、高専などの留学試験を受験できます。合格者には大学院、大学の場合、奨学金が月額 145,000 円前後、宿舍の手当、往復旅費などが支給されます。

私ども「アルホラズムの会」は高校など修学水準に応じた日本語能力試験公式問題集も提供しています。CD や DVD 付きの教材も増え、現地の大学など日本語教育機関はどこも予算が乏しく大変喜ばれています。

文部科学省は 2020 年までに来日留学生 30 万人計画を定め、留学生は 20 万人を超えました。しかし金儲けを目的とする留学斡旋業者の甘い言葉に乗り、来日費用の返済や生活費のためアルバイトで働きづめ、日本語学校で学ぶ費用も時間もなく、失意の若者が大勢います。

私どもの会は、来日前に母国で日本語や日本文化知識修得の支援を行い、国際的人材の養成を理念としています。

一昨年秋、駐日ウズベキスタン共和国大使館からの招きで、衆議院議員会館で開かれた『ウズベキスタン・日本学術円卓会議』へ参加しました。外務大臣や大使を務めた議員もいて広い視点で考えを展開していました。国のレベルでの相互協議は言うまでもなく重要ですが、国の目が届かないボランティア活動も重要であると強く思いました。

4. 終わりに

草の根型のささやかな国際的支援ですが、「千円札一枚寄金」活動の成果が現れてきたと感じています。

「アルホラズムの会」の所以

ウズベキスタンの古代都市ヒヴァに 8 世紀に生まれたムハンマド・アル・ホレズミは、古代ギリシアで創始されたユークリッド幾何学を中央アジアで大成させた数学者

です。代数学「algebra」、コンピューター用語「algorithm (アルゴリズム)」はアル・ホレズミ に由来します。

華麗なイスラム建築群で世界遺産に登録されたサマルカンドは年間 300 日の晴天が続きます。中央アジアのサマルカンドは、古代シルクロード東西交易の要衝として栄え、「ホレズム」は「太陽の国」の意味です。

この「アル・ホレズミ」と「ホレズム」に因んで「アルホラズムの会」(Association Alkhorazm) としました。

(参 考) 田中信義

『シルクロード歴史紀行

— 砂漠の彼方 遺跡と辺境へ —』

KK ロングセラーズ (2010). 日本図書館協会選定



届いた教科書を持つ生徒達

(ウズベキスタン共和国 フェルガナ州 リシタン市 NORIKO 学級)



新しい教科書を持つ生徒

「一人の若者、一冊の本、一本のペン、一人の教師が 世界を変えられる」

—— マララ・ユフスザイ ——

17 歳の少女が世界を感動させた

2017 年 ノーベル平和賞 2017 年 国連平和大使